

令和3年度

財務データ分析報告書

— 目 次 —

財務データ分析

集計概要	-----	1
1. 業種別集計	-----	2
2. 商工会別集計	-----	4

広島安芸商工会
府中町商工会
広島東商工会

【集計概要】

(1) 調査目的

安芸地域の小規模事業者の持続的な発展を推進するため、財務数値の増減を把握する。

(2) 集計方法

3商工会地域（広島安芸商工会、府中町商工会、広島東商工会）の事業所に関する、確定申告、金融支援で得られた事業者の財務データを集計した

(3) 集計結果

業種別件数

	製造業	建設業	小売業 卸売業	サービス業	その他	合計
府中町	5	64	24	115	57	265
広島東	17	91	36	156	116	416
広島安芸	9	45	50	94	82	280
合計	31	200	110	365	255	961

(4) 報告書の見方

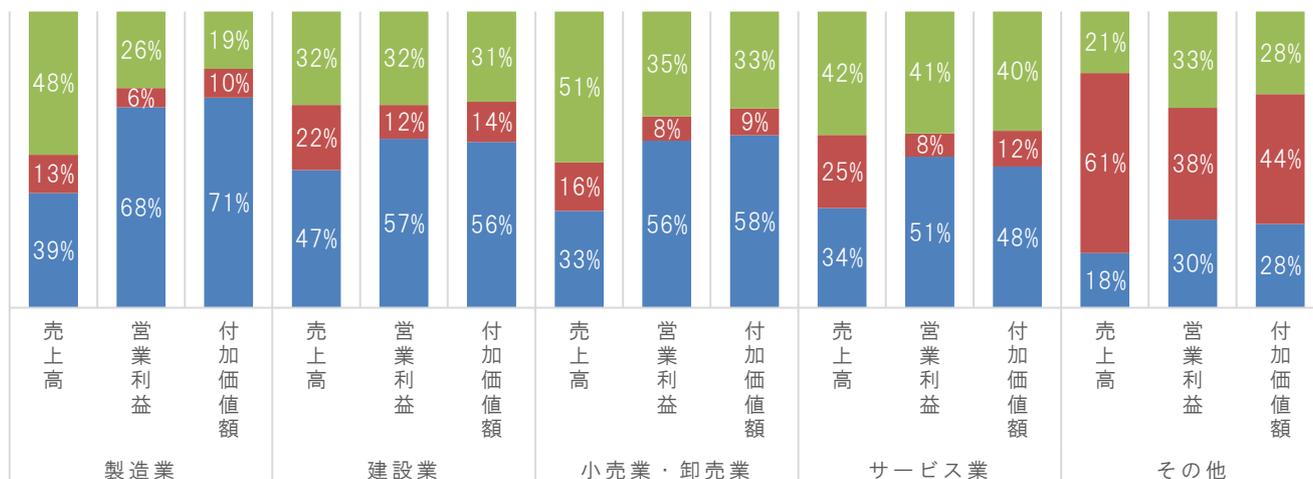
- 1) 売上高、営業利益、付加価値額について、平成30年と令和元年、令和2年の数値を業種別に比較して、増減の件数を算出した。前年に比べて各数値が5%を超えて増加している場合「増加」、5%を超えて減少している場合「減少」、5%以内の増減の場合「横ばい」としている。なお、付加価値額は「営業利益＋人件費＋減価償却費」で計算している。
- 2) 本文及び図中に示した調査結果の数値は桁数の関係で、表中の値で計算する場合と前年度比、前々年度比が一致しない場合がある。

なお、売上にはコロナ関連支援金を含む雑収入が含まれているため、純粋な売上やその他項目の比較になっていないことをご理解のうえご覧ください。

1. 3商工会合算（府中町・広島東・広島安芸）の売上高と利益の比較

業種別（3商工会合計）

■増加 ■横ばい ■減少



業種別の対象件数と前年比較

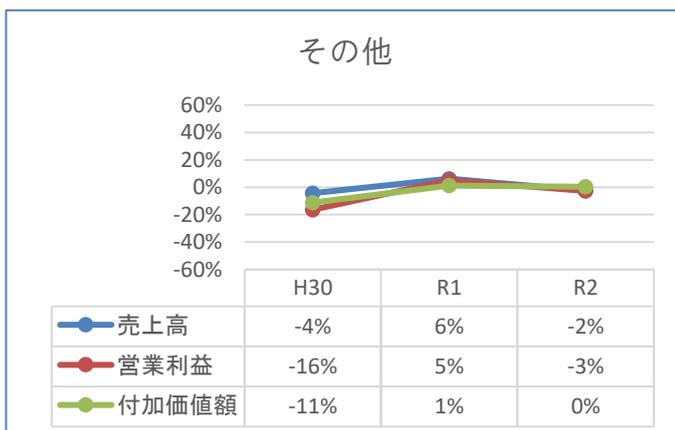
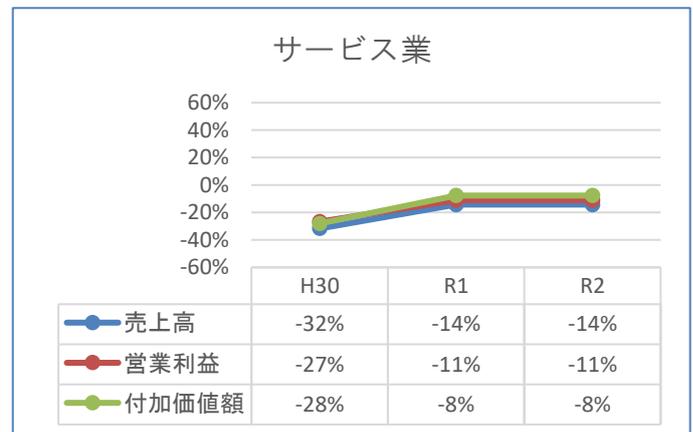
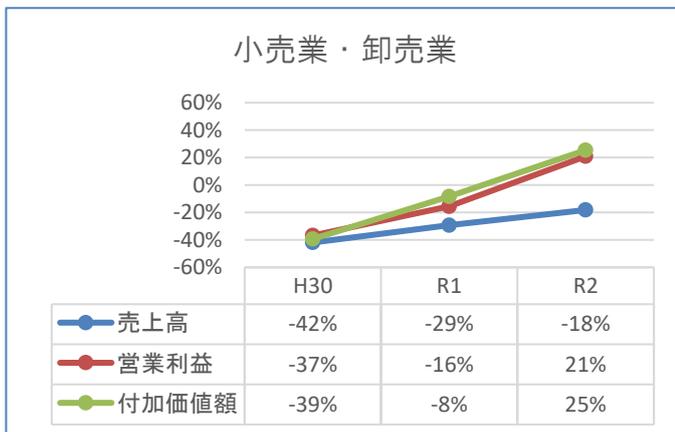
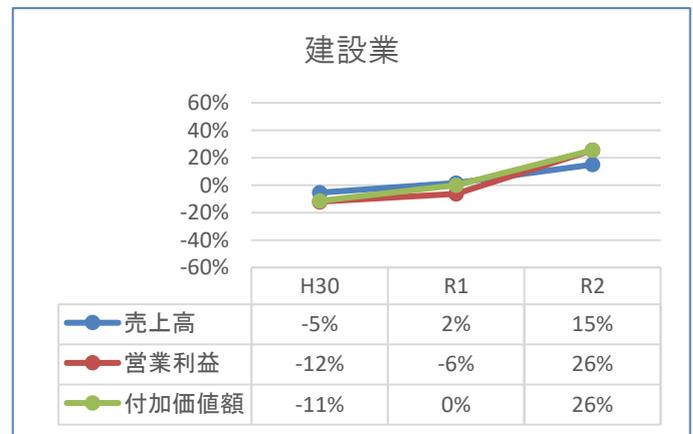
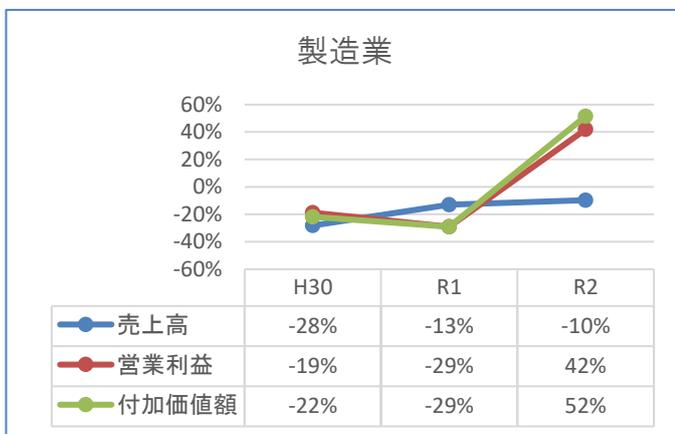
業種	件数	前年比	売上高		営業利益		付加価値額	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率
製造業	31	増加	12	39%	21	68%	22	71%
		横ばい	4	13%	2	6%	3	10%
		減少	15	48%	8	26%	6	19%
建設業	200	増加	93	47%	114	57%	112	56%
		横ばい	44	22%	23	12%	27	14%
		減少	63	32%	63	32%	61	31%
小売業 卸売業	110	増加	36	33%	62	56%	64	58%
		横ばい	18	16%	9	8%	10	9%
		減少	56	51%	39	35%	36	33%
サービス業	365	増加	123	34%	186	51%	174	48%
		横ばい	90	25%	29	8%	44	12%
		減少	152	42%	150	41%	147	40%
その他	255	増加	47	18%	76	30%	72	28%
		横ばい	155	61%	96	38%	112	44%
		減少	53	21%	83	33%	71	28%
	961	有効合計	961		961		961	

製造業において、半数以上は売上高等が減少している。小売業・卸売業においては、売上高の減少に比べて、営業利益、付加価値額の減少は一定程度抑えられている。その他（主に不動産賃貸業）については、経費の増加による営業利益の減少が考えられる。

■業種ごとの前回集計との比較

(各項目が増加している事業者の割合から、減少している事業者の割合を引いた数値で比較)

製造業	売上等が増加した事業者の割合はほぼ横ばいだが、営業利益、付加価値は増加している事業者の割合が高い。
建設業	いずれの項目も増加の事業者が約5割と業績の改善傾向がみられる。すべての項目において、前年対比でプラスの割合が増加している。
小売業 卸売業	売上高の減少した事業者が約18ポイント、営業利益と付加価値額は20ポイント程度のプラスであった。
サービス業	売上等が減少した事業者の割合が、増加した事業者の割合より若干高い。多くは増加した事業者と減少した事業者に分かれる。
その他	いずれの項目も前年と同水準の事業者の割合が最も高く、全体では前年とほぼ同水準で推移している。

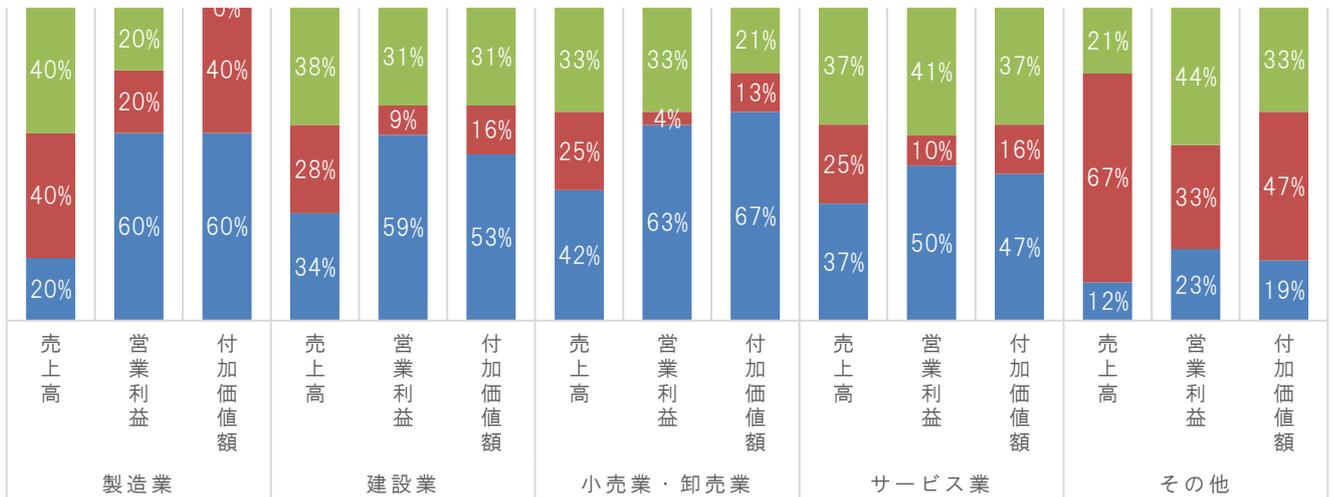


2. 商工会ごとの売上高と利益の比較

2-1. 府中町商工会

府中町商工会

■ 増加 ■ 横ばい ■ 減少

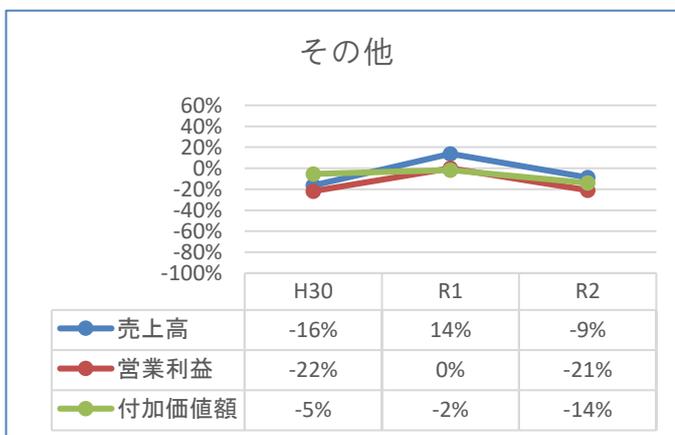
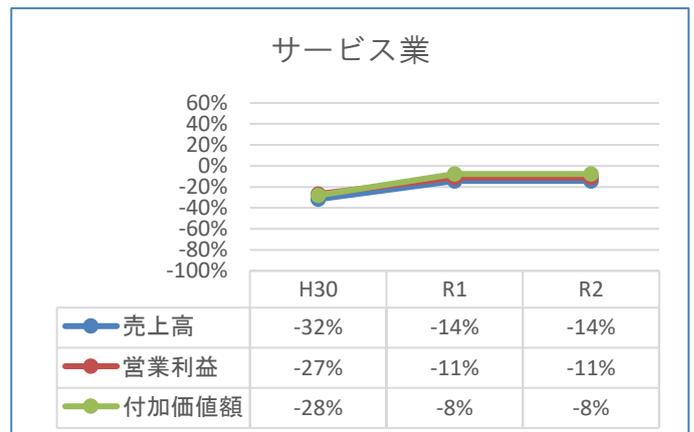
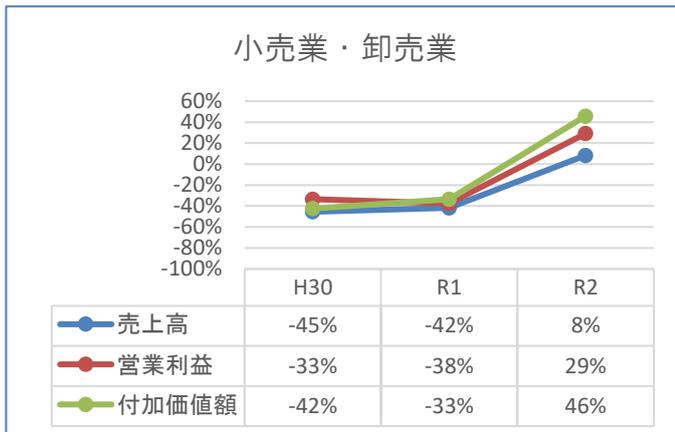
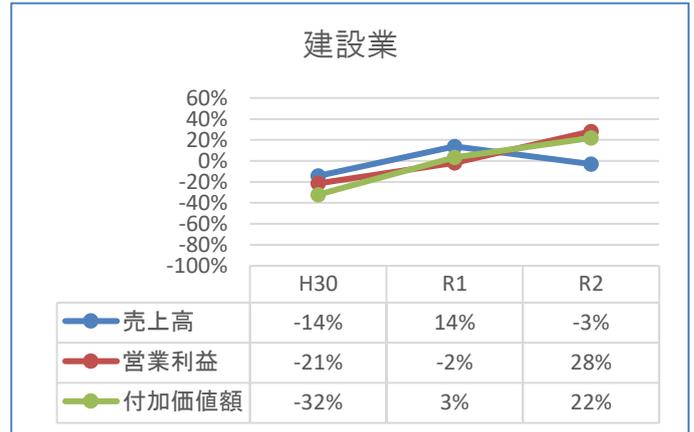
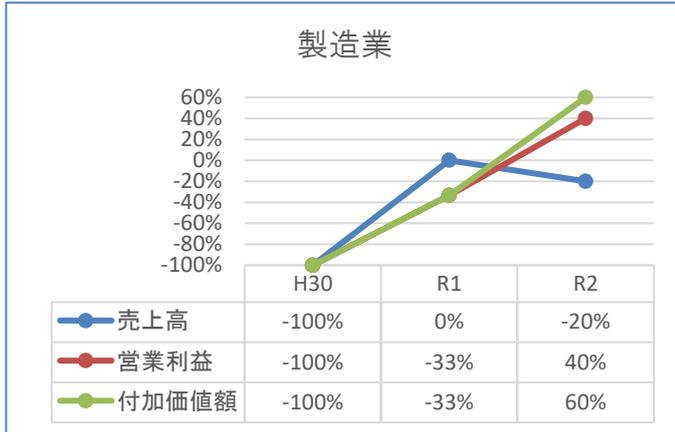


業種別の対象件数と前年比較

業種	件数	前年比	売上高		営業利益		付加価値額	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率
製造業	5	増加	1	20%	3	60%	3	60%
		横ばい	2	40%	1	20%	2	40%
		減少	2	40%	1	20%	0	0%
建設業	64	増加	22	34%	38	59%	34	53%
		横ばい	18	28%	6	9%	10	16%
		減少	24	38%	20	31%	20	31%
小売業 卸売業	24	増加	10	42%	15	63%	16	67%
		横ばい	6	25%	1	4%	3	13%
		減少	8	33%	8	33%	5	21%
サービス業	115	増加	43	37%	57	50%	54	47%
		横ばい	29	25%	11	10%	18	16%
		減少	43	37%	47	41%	43	37%
その他	57	増加	7	12%	13	23%	11	19%
		横ばい	38	67%	19	33%	27	47%
		減少	12	21%	25	44%	19	33%
	265	有効合計	265		265		265	

■業種ごとの前回集計との比較

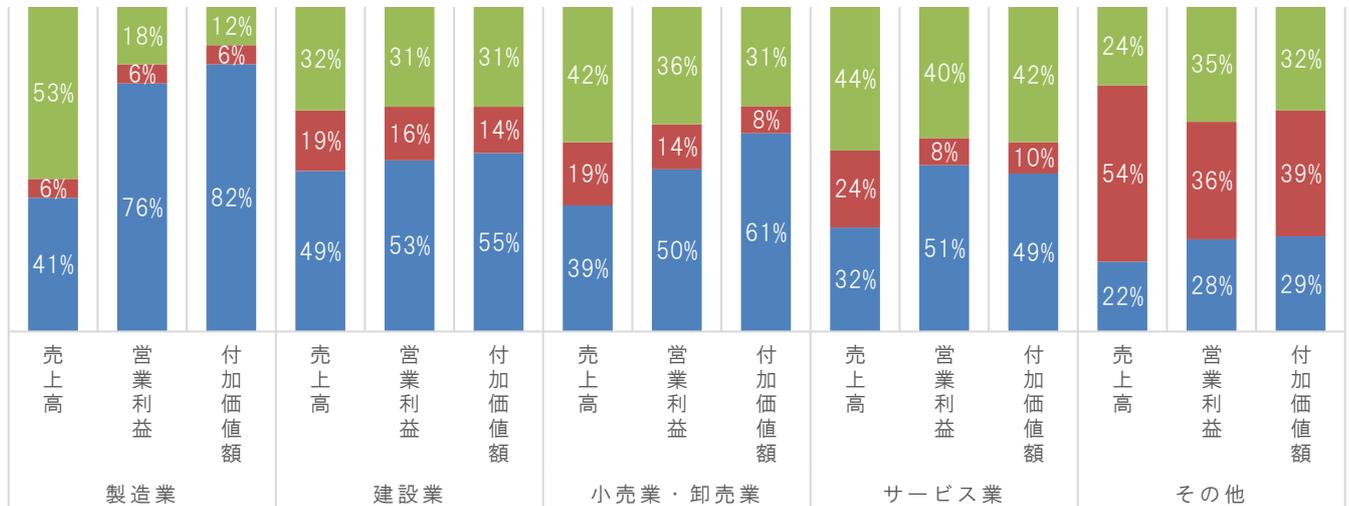
製造業、建設業では、売上減少の割合が高ま、前年に比べて減少傾向にあった。営業利益、付加価値額は増加している事業者の割合が増加しているのは、コロナ関連の支援金の受給が要因と考えられる。小売業・卸売業では、全項目で業績が改善傾向にある事業者が増加している。サービス業では、全項目が前年同水準であることから、コロナ関連の支援金で穴埋めが出来ているのではないかと考えられる。その他業種（主として不動産賃貸業）については全項目で減少した事業者の割合の方が高い状態であった。



2-2. 広島東商工会

広島東商工会

■ 増加 ■ 横ばい ■ 減少

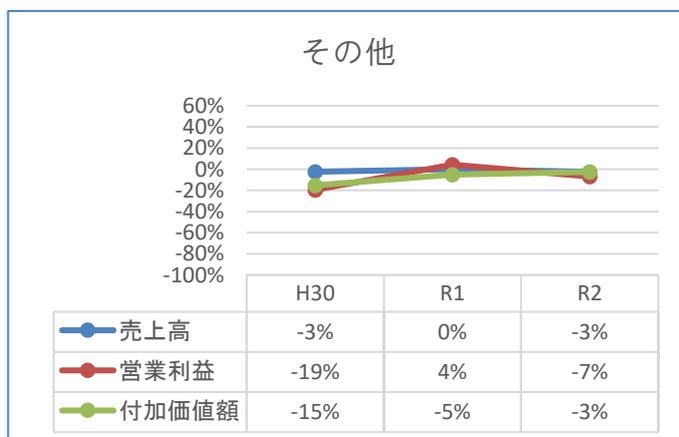
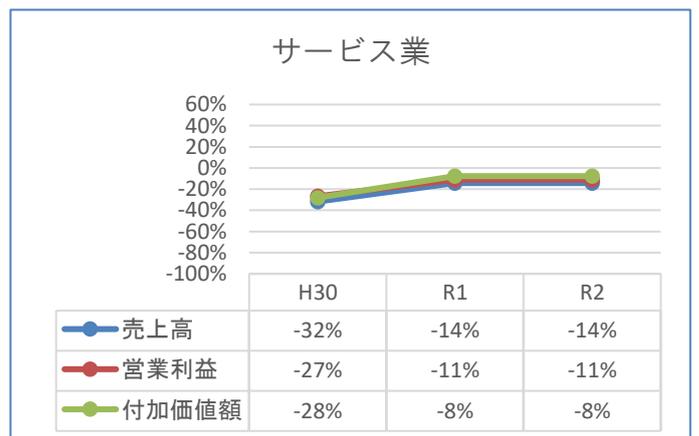
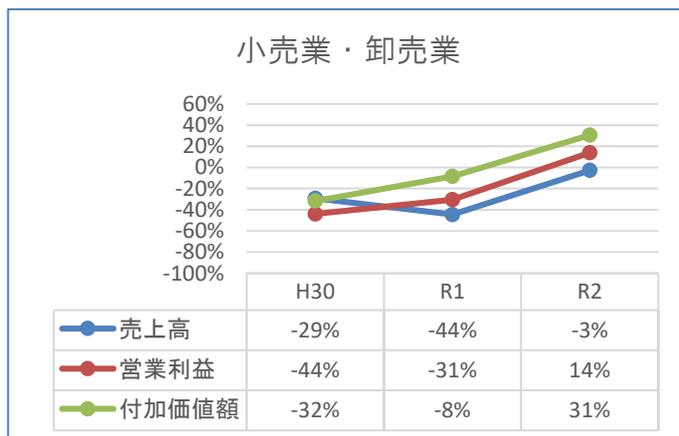
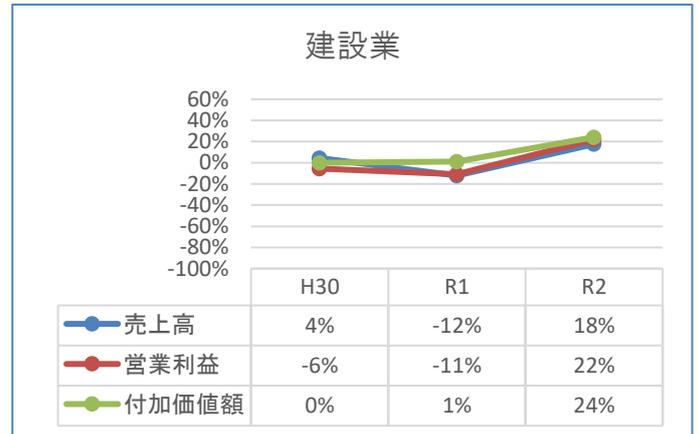
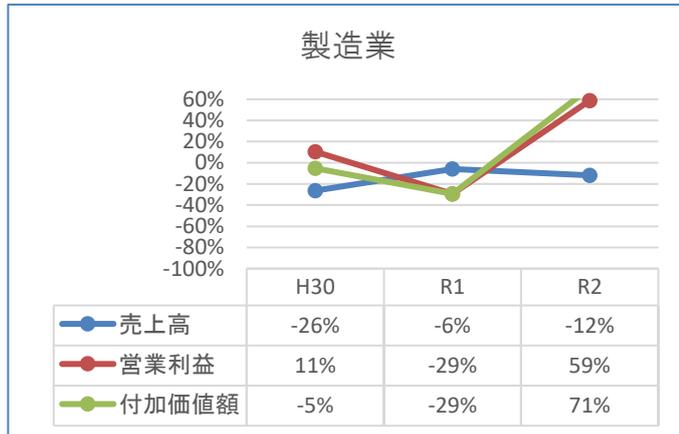


業種別の対象件数と前年比較

業種	件数	前年比	売上高		営業利益		付加価値額	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率
製造業	17	増加	7	41%	13	76%	14	82%
		横ばい	1	6%	1	6%	1	6%
		減少	9	53%	3	18%	2	12%
建設業	91	増加	45	49%	48	53%	50	55%
		横ばい	17	19%	15	16%	13	14%
		減少	29	32%	28	31%	28	31%
小売業 卸売業	36	増加	14	39%	18	50%	22	61%
		横ばい	7	19%	5	14%	3	8%
		減少	15	42%	13	36%	11	31%
サービス業	156	増加	50	32%	80	51%	76	49%
		横ばい	37	24%	13	8%	15	10%
		減少	69	44%	63	40%	65	42%
その他	116	増加	25	22%	33	28%	34	29%
		横ばい	63	54%	42	36%	45	39%
		減少	28	24%	41	35%	37	32%
	416	有効合計	416		416		416	

■業種ごとの前回集計との比較

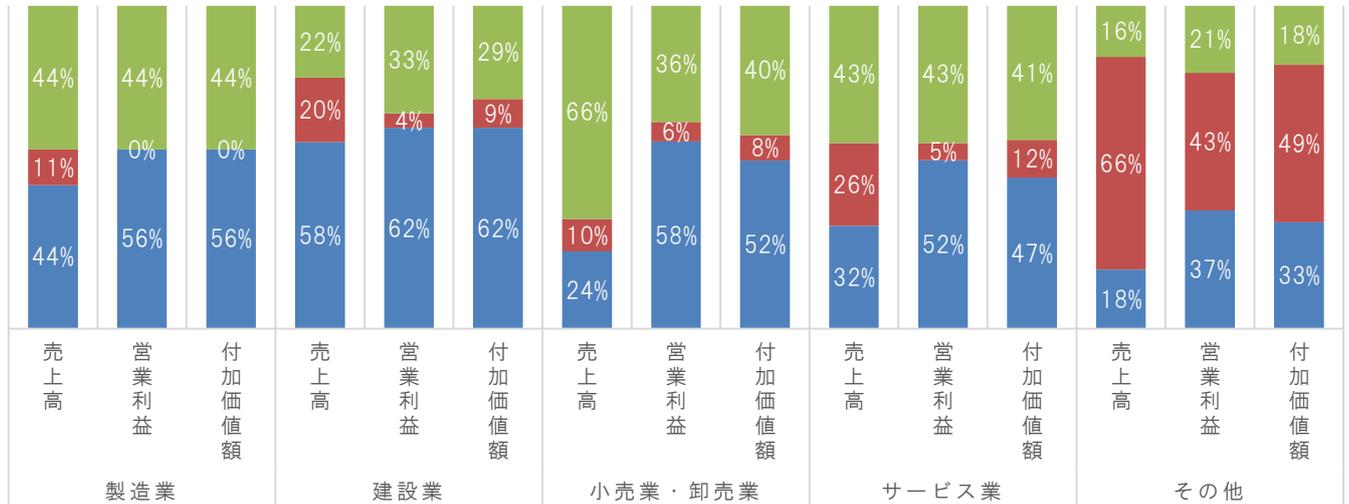
製造業では、売上は減少した割合の方が高いが、営業利益と付加価値額では増加した事業者の割合が他の業種に比べて大幅に高い。建設業では、全項目において若干の持ち直しの傾向が見られる。小売業・卸売業では、売上は△3%と、減少した事業者が増加した事業者より若干多く、営業利益、付加価値額については、増加した事業者の方が若干多かった。サービス業ではいずれの項目でも減少した事業者の割合が増加した事業者より高かった。その他業種は前年対比でほぼ横ばいであった。



2-3. 広島安芸商工会

広島安芸商工会

■増加 ■横ばい ■減少



業種別の対象件数と前年比較

業種	件数	前年比	売上高		営業利益		付加価値額	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率
製造業	9	増加	4	44%	5	56%	5	56%
		横ばい	1	11%	0	0%	0	0%
		減少	4	44%	4	44%	4	44%
建設業	45	増加	26	58%	28	62%	28	62%
		横ばい	9	20%	2	4%	4	9%
		減少	10	22%	15	33%	13	29%
小売業 卸売業	50	増加	12	24%	29	58%	26	52%
		横ばい	5	10%	3	6%	4	8%
		減少	33	66%	18	36%	20	40%
サービス業	94	増加	30	32%	49	52%	44	47%
		横ばい	24	26%	5	5%	11	12%
		減少	40	43%	40	43%	39	41%
その他	82	増加	15	18%	30	37%	27	33%
		横ばい	54	66%	35	43%	40	49%
		減少	13	16%	17	21%	15	18%
	280	有効合計	280		280		280	

■業種ごとの前回集計との比較

製造業、建設業では、売上高、営業利益、付加価値額の改善傾向がみられる。小売・卸売業では、営業利益、付加価値額は増加または横ばいの割合が増加しているが、コロナ関連の支援金を受給していることが要因と考えられる。サービス業、その他業種については、前年と比較して同水準で推移していると思われる。

